

楽しい仲間と楽しい場所で 楽しいことを！

羽賀 望 (はが のぞみ)
由仁町 WEAVE代表

農山漁村における地域の活性化や、個性的で魅力ある地域づくりの優れた活動を紹介するシリーズ。

今回は「わが村は美しくー北海道」運動第8回コンクールで特別賞を受賞した「WEAVE」代表の羽賀望さんにお話を伺いました。

《楽しく学びながらの仲間づくり》

由仁町は、札幌市の東約40kmに位置し、稲作、畑作を主とした農業地帯です。近年では、町外から農家に嫁ぐ非農家出身の女性も増え、慣れない土地での生活や子育てに戸惑う方も多いようで、横浜出身の羽賀さんも、その1人でした。

そんな思いを持っていた女性たちが、空知農業改良普及センター空知南東部支所が開いた若手女性向けの農業ゼミナールをきっかけに、農業を楽しく学びながら仲間づくりをしようと2013年に「WEAVE」が設立されました。発足当初からメンバーは40歳で卒業することに決め、常に新しい考えでたくさんの仲間をつくってきました。WEAVEは英語で「織る」「編む」の意味があり、「女性らしく丁寧に活動したい」という想いが込められています。

《楽しいからできる豊富な活動》

活動内容は豊富で、メンバー同士のお家を訪れて各々の農業の様子を知る「お宅訪問」や「他地域の農業者との交流」、「マルシェでの野菜直売」「イベント開催」など数多くあります。2015年には規格外野菜の有効活用として開発した、乾燥野菜「dry vege」の商品化に成功。新鮮野菜を収穫後すぐにカットして乾燥し、数種類と一緒にパッキングしたdry vegeは、この商品一つでスープや炊き込みご飯の具になり、簡単調理に最適です。



「WEAVE」の活動や
「dry vege」はこちらから



Instagram



今年開催が望まれるクリスマスパーティー（写真は2019年）

これは、農業に携わり、子を持つ母親であるWEAVEだからこそ生まれた商品です。2019年まで毎年出店していた、札幌で行われる「クラシェ」や「愛食フェア」では、完売するほど盛況でした。「本格的に生産・加工して収益を得る方向もありますが、会参加の目的は『仲間づくり』などそれぞれなので、無理のないよう自分たちがやりたいことを都度話し合い、楽しむことをベースにバランスを取って活動していきたいです」と羽賀さんは言います。

《仲間づくりで知った由仁町の魅力》

これまでもWEAVEでは、年に1回の町内の方への活動報告の場として、ハロウィンカーニバルやクリスマスパーティーなどを開催しています。看護師、音楽講師、パティシエ…etcなど多岐にわたるメンバーの前職での経験を活かし、ダンスやゲーム感覚での食育など、多様なイベント内容で子どもたちを楽しませていました。ここ2年、コロナウイルスの影響で会の活動は、中止を余儀なくされましたが、今年から徐々に活動を再開させていくそうです。その中でも12月4日（日）にクリスマスパーティーが復活することになりました。



今年で卒業する
代表の羽賀さん

最後に羽賀さんは、「由仁町に嫁いだころは、何もないところだと不安になりました。でも仲間ができたことで、今では何でもできる魅力的なところだと思っています。この由仁町の魅力を子どもたちや他の人にも知ってもらえるよう、WEAVEの活動を楽しみながらやっていきたい」と笑顔で答えてくれました。

※ 当協会ホームページ、開発調査総合研究所・調査研究報告書から「わが村は美しくー北海道」運動第1～9回受賞団体の活動概要をまとめた冊子をご覧ください。